

令和4年4月16日

北関東フォーラム

於：シムックス

中斎塾 北関東フォーラム

令和4年度 第4回

おはようございます。講話の前に、群馬郷学会から中斎塾フォーラムに寄付を戴きましたのでご報告申し上げます。

群馬郷学会についてお話し、寄付の経緯を簡単に説明致します。群馬郷学会の前身は群馬師友協会です。安岡正篤先生の教えを学び広げようということで、全国に師友協会が作られました。群馬県には群馬師友協会がありました。安岡正篤先生の意向で、御自分が亡くなられた後は師友協会を解散して欲しいということで、全国の師友協会は解散をしていきましたが、現在も活動を続けている所が幾つかあります。群馬郷学会は総本山でもある嵐山の公益財団法人郷学研修所・安岡正篤記念館と緊密な関係を保っておりましたが、本体である郷学研修所が解散を検討するにあたり、群馬郷学会も高齢化と会員の減少が進んでいる状況から、令和3年3月31日をもって解散することになりました。解散後の事業（講演会や真向法教室）については、中斎塾フォーラムで受け継いで貰いたいという希望を受けて、現在に至っています。最終的に群馬郷学会の歴史を小さな冊子にまとめ、会員さんに郵送を終えて、群馬郷学会会員の総意により残金 34,172 円を中斎塾フォーラムに寄付して戴きました。

五美と四悪

では、講話に参ります。本日の論語は堯曰篇第二です。堯曰篇は残り1章ですから、来月で北関東フォーラムは論語を最後まで読み通したことになります。再来月からは、テーマを定めて、それに沿った論語を取り上げて追及していくという方向で進めていきたいと考えています。

では、素読を致します。

子張 孔子に問いて曰く、如何なれば斯に以て 政 に従うべきと。子 曰く、五美と謂
尊 び、四悪を屏くれば、斯に以て 政 に従うべしと。子張 曰く、何をか五美と謂
うと。子 曰く、君子は恵にして 費 さず、勞して怨みず、欲して 食 らず、泰にして驕ら
ず、威ありて猛からずと。子張 曰く、何をか恵にして 費 さずと謂うと。子 曰く、民の

利する所に因りて之を利す、斯れ亦 恵にして費さざるにあらざや。勞すべきを択びて
之を勞す、又 誰をか怨みん。仁を欲して仁を得、又 焉んぞ貪らん。君子は衆寡と
無く、小大と無く、敢て慢ること無し。斯れ亦 泰にして驕らざるにあらざや。君子は
其の衣冠を正しくし、其の瞻視を尊くし、嚴然として人 望みて之を畏る。斯れ亦 威あ
りて猛からざるにあらざるやと。子張曰く、何をか四悪と謂うと。子曰く、教えずし
て殺す、之を虐と謂う。戒めずして成るを視る、之を暴と謂う。令を慢にして期を致
す、之を賊と謂う。猶しく之れ人に与うるなり、出納の吝なる、之を有司と謂うと。

この章の要点は、五美と四悪です。

子張と孔子は歳が48歳も離れています。子張がこういう質問を出来るようになったのは大人になってからで、尚且つ子張が陳の人間であり、孔子は60歳の時陳に行っていることを勘案すると、だいたい子張が20歳くらいで孔子が68歳くらいだと思います。20歳そこそこの若者に対して、70歳近いお爺さんが答えているという状況です。

では、解説を致します。

子張が孔子に聞きました。「私は政治に携わりたいと思います。どうすれば政治に関わることが出来ますか」

孔子が言いました。「五美を尊び、四悪を除きなさい」

子張が尋ねました。「五美とは何ですか」

孔子が言いました。「君子は、人に恩恵を与えるが、私財は使わない。国民を使役するが、自分達に利益が返ってくるので国民から恨まれることはない。仁の徳を国民に分ち合いたいと欲するので、自分は強欲にはならない。どっしり構えているけれども、偉ぶらない。威厳があるが、荒々しくは見えないものだ」

子張が尋ねました。「人に恩恵を与えるのに、費用をかけないとはどういうことですか」

孔子が五美について答えました。

民の利する所に因りて之を利す、斯れ亦 恵にして費さざるにあらざや・・・農業でも漁業でも国民が努力をすれば、その利潤は国民の懐に入るではないか。国民が働き甲斐があるように環境を整えることが君子の考えるべきことだ。そうすれば私財を使うことはない。

勞すべきを択びて之を勞す、又 誰をか怨みん・・・国民を使役する時は、橋や道路の修繕、水路を整えるような土木事業にあたらせ、尚且つ農閑期を択んで行う。そういう気配りをすれば、誰も恨むはずがない。

仁を欲して仁を得、又 焉んぞ食らん・・・君子は仁徳を得ようと努力をし、結果、人徳を得ることが出来る。民から食ることなどあるはずがない。

君子は衆寡と無く、小大と無く、敢て慢ること無し。斯れ亦 泰にして驕らざるにあらずや・・・君子は人の衆寡や物事の大小を気にしないし、侮ることもしない。泰然自若として奢ることをしない。

君子は其の衣冠を正しくし、其の瞻視を尊くし、嚴然として人 望みて之を畏る。斯れ亦 威ありて猛からざるにあらざるやと・・・君子は如何なる時でも衣冠をきちんと正して人々の尊敬を集め、その嚴然とした姿に人々は恐れ敬うのだ。また君子は穏やかではあるが威厳があり、少しも粗暴なものは感じないものだ。

「泰にして驕らざるにあらずや」も「威ありて猛からざるにあらざるや」も同じ事を繰り返していますから、それだけ協調しているとお考え下さい。

子張がまた尋ねました。「では、四悪とは何でしょうか」

孔子が答えました。

この部分は、今のウクライナとロシアで解釈を致します。

子曰く、教えずして殺す、之を虐と謂う・・・まさにプーチンさんです。ウクライナに兵士を送り込んでいる訳ですが、戦争の仕方を教えていない。また、具体的な戦い方や訓練をさほどしていないようです。大学で突然「戦って来なさい」と言われて、どういう状況かも分からずに送り出されたという学生がいるとテレビで報道されていました。これはウクライナ側のデマかもしれないと思いつつ、あり得るなと思って見ました。ですからここは、戦争の仕方を国民に教えないでウクライナに向かわせた。その結果ロシアの兵士は死んでしまった。これを虐と謂う、と解釈します。

戒めずして成るを視る、之を暴と謂う・・・戦地ではここに氣をつけなさい、武器を使う時はここに氣をつけなさい、といった注意を先に与えないで、不意打ちで出来たか出来ないかを検査する。これを暴と謂う。

令を慢にして期を致す、之を賊と謂う・・・いつまでにキーウを陥落せよ！というきちんとした命令を出さずに、突如として陥落を迫る。これを賊と謂う。

流れている情報によれば、プーチンさんはクリミアの時と同じようにキーウも 2 週間そこそこで陥落できると踏んでいたようですが、出来ませんでした。日本の大本営発表のように、負け戦になって来たので「転進した」という言い方をしています。

猶しく之れ人に与うるなり、出納の吝なる、之を有司と謂う・・・功績があった人に賞を与える時は、出来る限りたくさん褒美を出した方がよい。ケチケチして出し惜しみする

ことを有司（役人根性）と謂う。

今の時代に置き換えて考えるという部分で、申し上げたようにロシアがウクライナに侵攻したのを見ると、ここに書いてある四悪と同じですね。人間のやる事は、論語の時代から変わっていないと感ずます。

ただ、プーチンさんがウクライナを攻めるのは、恐怖心に駆られての事だろうと私は感じています。NATOが結束してロシアを叩くという強迫観念に憑りつかれていると思っています。外に向けては、元の領土を回復したいとかソ連邦を渴望することが腹にあるからだということですが、中身は逆ではないかという気がしてなりません。かつて日本はアメリカに真珠湾攻撃を仕掛けたという話がまかり通っていますが、少なくとも当時の状況をみれば、日本はこのままでは潰されると上層部は信じて、窮鼠猫を嚙むという感覚で戦争を始めざるを得なかったわけです。プーチンさんの腹の中もそういうものが垣間見える気がしています。

今の状況をみると、プーチンさんは自分の中で期限を限っているようです。ロシアでは5月9日のドイツ戦勝記念日には国をあげて華々しくお祝いすると伝えられていますが、その時には、ウクライナを完全に制圧したとは言わないでしょう。しかし、戦勝したと言いたいのでしょう。ところがなかなか思うようにいかないものだから、ドボルニコフという将軍を引っ張り出してきて、もしかすると核も使うかもしれないという状況下にもって来ています。これは、まさに「四悪」に直結する所業だと私は感じています。

ただ、孫子の兵法では冒頭に「兵は詭道なり」（戦争は騙し合いだ）と言っています。これは、そのまま現在のロシアとウクライナの戦争を評しています。ただ、騙し合いの仕方が大分変わりました。

人が世に出るチャンス —— デジタルがキーワード

一昨日、大野参与が主催している会で、宇宙エレベーターに関する講演会があり、私も参加しました。そこでお聞きした話を申し上げます。

今、地球の周りを衛星が回っていて、衛星から15分ほど送信がされます。4月14日の日経新聞にもウクライナを写した衛星写真が掲載されていて、ロシア軍の戦車がどういう方向に向かって進んでいるかが分かります。今は車列が分かる程度ですが、宇宙エレベーターの研究がどんどん進んでいくと、車のナンバーまで見えるような衛星写真が撮れるそうです。カメラが相当進歩していけば、24時間365日監視し続けられる、そういう世の中に進んでいます。

なぜ、こういうことを申し上げるかという、人の心は変わらないという話をしましたが、技術はどんどん進んでいます。そういう視点でテーマ「令和4年を考える——人が世に出るチャンス・コロナとは共存・次の人を育てる」をまとめて見れば、デジタルが大きなキーワードになって来ると思います。世界全体がデジタル化して来ている。日本もデジタルをどんどん推進せねばならない方向になっています。

宇宙エレベーターを研究し現実のものとしていく過程において、技術がどんどん進みます。デジタルカメラもその一つです。中国は今、カメラをあちらこちらに置いて国民を監視していますが、この技術で衛星を通じて国民の動向を365日24時間撮って、AIを使って分析していくわけです。そうやって監視し続ければ、その人の行動から何から何まで、国家にとって必要な情報が残らず入って来る。それがデジタル社会です。ですから国家側から見ると大変嬉しい社会になります。同時に、企業から見ても大変嬉しいわけです。その人の日常生活から好きなものや行動パターンを解析して、それにあった商品を営業することが出来ますから、ビジネスチャンスが広がるわけです。

私が以前からマイナンバーは嫌いだとお話していますが、最近驚いたことがあります。私がかけている保険を解約しようとして、保険会社に連絡しました。すると資料が送られてきたのですが、マイナンバーカードに書かれている私の色々な情報を書いて提出する書類と、マイナンバーカードを持っていない人用にカード取得の申込書が入っていました。保険の解約をするのに、民間の保険会社が何故マイナンバーカードに関する書類を送って来るのか不思議になりました。保険会社は国の代理でマイナンバーカードを集める仕事をしているのか、と私は受け止めました。マイナンバーカードを進める理由は、税務署が欲しがるからでしょう。銀行の口座番号も全部分かるようになるわけです。

デジタルが進めば進むほど個人は丸裸になって、その人が何を欲しがっているか、お金をいくら持っているか等々、企業も分かるし国家も分かってしまう。そして当の本人は、ただ搾取され続ける。そういう状況が目前に迫っていると思っています。

今、全国にスマートシティが立ち上がっています。トヨタ自動車をはじめ色々な企業が参画しています。前回お話したように、シムックスが会津若松市の警備会社をM&Aで引き取らせて戴いたので、会津若松に行って来ました。会津若松市にはアクセンチュア・イノベーションセンターというものが出来ています。これはGAF Aがかなり絡んでいるようです。ここでは全国各地に展開されるスマートシティの実証モデルが見られるのではないかと思いますので、定期的に会津若松に行って見て来たいと思っていますし、研究したいと思っています。

人が世に出るチャンスとは、人だけではなくて、企業も巨大化するチャンスです。更に、国家が他の国家を収奪するチャンスでもある、と私は最近捉えるようになりました。先ほど申し上げた宇宙エレベーターの開発によって、宇宙の利権争いもかなり進んでいるようです。宇宙の利権の争奪戦は、そのまま地球上の利権の争奪戦と繋がっていると感じます。知らない間に人類は、家畜とまでは言いませんが、放牧をされているような印象を私は最近持ち始めています。

では、その中でどうやって私たちは生きていかねばならないか。私の行動を申し上げると、コロナワクチンは打たないと決めています。政府がワクチンを推奨すればするほど、何かおかしいと思って現在もコロナワクチンを打っていません。これは一つの行動です。それからマイナンバーカードは取得しないと決めて、現在も取得していません。

そう申し上げますと、コロナワクチンもマイナンバーも日本政府が進めている話ですから、日本の政府はけしからんという話になりますね。あまりこういう話は嬉しくありませんが、政治を司る人は本当に日本の国を良くしようと思っているのでしょうか。思っているのであれば、真剣に日本の国の100年後、1000年後を考えた上で色々な政策を推進して貰いたいものだと思います。

恒例の質問

では、恒例の質問に入ります。

○ 今年に入って、良い日が続いていると思う方

客観で、比較しながら考えるのではなく、あくまでも主観でお考え下さい。自分が夜寝る時、ああ良い日だったと思えばよいのです。

○ 今年に入って、嘘はついていないし、嘘をつかれてもない方

○ 今年に入って、有難うと言い、有難うと言われることが多い方

有難うとは自分で言えますが、手を挙げなかった方は、有難うと言われたいのは悲しいなど思って下さい。自分が色々してあげているのに、有難うと言われたいこともありますね。その時は、そういう人なのだと思うと忘れてしまえばよいのです。

○ 今年に入って、身体の手入れをよくやっている方

私は昨夜は真夜中に寝たので、今朝は身体の手入れを1時間弱しか出来ませんでした。

○ 今年に入って、自分磨きをよくやっている方

もう一度申し上げますが、自分のやったことを客観的に判断すると、100点満点中30点とか40点だからまだ自分を褒められないとか、身体の手入れも全然足りない…とマイナス

の方が多くなってしまうものです。ですから主観で判断すればよいのです。私は営業所の所長としてよく頑張っている、だから自分は素晴らしい・・・と、自分で自分を褒める事が肝心です。上司が褒めてくれないなら、上司が馬鹿だから自分の良さを見抜く力がないのだと思えばよいのです。自分の価値を分かるのは自分しかいないのだと思って、自分を褒めてあげることです。

○ 昨晚寝る時、明日以降を過去形で考えて寝られた方

私ごとで言えば、明日は北関東フォーラムの講話をして、詩吟をして、その後は次世代の研修会をする・・・と、それらがよく出来たとか出来なかったという具合に判断をしません。昨晚は、＜講話も詩吟も全部出来た。良かった良かった＞と思って、ころっと寝てしまいました。これは自分で勝手に思えばよいわけで、人さまの評価は気にしない。かなり無茶苦茶な論法ですが、陽明学とは自分が正しいと信じたものは正しいのです。世の中が皆変わっても、自分が正しいと思ったことはやり続ければよいのです。そのように自分自身を褒め続ければ、その結果は当然行動に出ます。

お時間が少なくなりました。先日、梅川理事から楽しいハガキを戴きましたのでご紹介します。梅川さんは今年2月に80歳になられたそうです。論語の「七十にして心の欲する所に従えども矩を踰えず」の後がないので、「八十にして輝き、九十にして成る」と加えたを書いてありました。「八十にして輝き」は「性 相近し、習 相遠し」（陽貨篇2）から、「九十にして成る」は「歳寒くして、然る後に松柏の凋むに後るを知る」（子罕篇27）を基にしたそうです。ご自分でこのように考えられたのはとても良い事だと思いました。次回、梅川さんにお話をして戴きたいと思っています。

最後に、テーマの「令和4年 壬寅を考える」（世に出るチャンス・コロナ・次の人）を踏まえて申し上げます。

私は自宅に缶詰の備蓄を大分しています。以前は、缶詰やレトルトを買う時に2年ないし3年の保存期限のものを買っていました。ところが最近は3年の保存期限のものがなくなってきました。これは怖いことだと思っています。

前から申し上げていますが、これから起きることはスタグフレーション（不況下における物価高）です。皆さんも大分実感を持って受け止めて戴いていると思います。これから起きるのは品不足です。食料品が不足し、とんでもない状況になって来る。おまけに世界各国で金利が上がっていますから、日本も金利が上がらないわけがない。抵抗している黒田総裁は来年3月で任期切れです。そうすると日本は、新しい総裁のもとで金利が上がる

に決まっているのではないかと考えています。借金が多い企業は潰れます。もう、目に見えた展開が差し迫って来たと実感しています。

最後に、中国絡みのお話を申し上げます。ロシアに対して欧米の手の打ち方は外貨準備を凍結しました。中国は今、中国が台湾に侵攻した時には同じ事をされるであろうと思って、必死になって対応策を練っているのだと思います。それが出来たなら、台湾に手を出すのではないかと考えています。

ちなみに、ウクライナに侵攻する前のロシアの外貨準備を考えると、かつてはドルの比率が40%くらいでしたが、ウクライナ侵攻の1年前には半分の20%くらいまで減らしました。現在は10%くらいの状況になっています。金融制裁は相当効いていると思います。同時に、中国に対するけん制にもかなりなっていると思っています。日本はどこまでそういう事を承知で綱渡りを続けていくのかなと思っています。

お時間になりました。本日の講話はここまでと致します。ご清聴有難うございました。